

顛 末 書

名 称	第 4 回 お出かけ市長室～市長と語ろう！まちづくり意見交換会～
日 時	令和 6 年 8 月 8 日（木） 19：00～20：35
会 場	北部公民館 2 階 研修室
出席者等	・中野市長 湯本 隆英 ・一般参加者 14 名 ・総合計画策定支援業務 委託業者 2 名 ・事務局：4 名 計 21 名
次第	1 開 会 2 第 3 次中野市総合計画・前期基本計画の策定に向けて 3 市長講演 4 意見交換 5 その他 6 閉 会
発言内容	別紙のとおり

会議状況



別紙 発言内容（意見交換部分のみ）

Q カチューシャマラソンはなぜ無くなってしまったのか。様々な部門があり、親子で参加できるなどいい大会だった。復活できないのか。

A 体育協会が主催で、人員確保が難しいと聞いている。体育協会の役員と意見交換の場もあるので、意見は伝える。

Q 基金が減っているのは市民会館の建設で減ったということか。

A 最近では市庁舎や市民会館の整備の際に取崩して事業費に充てている。取崩すだけでなく、財政運営の中で積立ても行っている。

Q 活動団体の最近の4件がどんな団体か

A 高丘のゴミ拾い部、陣屋の柳の枝を活用して作品にする事業、長丘地区で挨拶をしましょうというような看板を復活させる等の事業の実施団体。

Q デマンドタクシーの実証研究をやると聞いたが、今、お出かけタクシーを利用している人は困るのでは。

A 現行のお出かけタクシーをもう少し便利にして、ドアツードアで利用可能な事業を実証実験として行う予定。今より便利に使っていただく予定なので、現状利用されている方も困らないようにしたい。

Q 今日20人程参加者がいるが、女性の参加者は2人。中野市のジェンダー平等や女性職員の幹部起用などについて教えていただければ。

A 市をあげて男女だけではなく、もっと住みよい街にするため、様々な政策に取り組んでいるので、ご理解をお願いしたい。

Q 公共交通の関係。山ノ内町は住民も行政から補助金を貰ってやれることをやっているが、中野市はそんな動きがあるのか。

A 中野市と山ノ内町で公共交通の合同会議があり、どんな取り組みが良いかを実証実験等しながら、地域の皆さんのお話を聞いているところである。

Q 延べ面積を減らす目標に対して、今後どれを減らす予定なのか。

A 今後、保育園の建て替えを進める中で平野保育園、高丘保育園の削減を予定している。

Q 中野の観光資源の1つ「土人形」について、先日校長先生の集まりでお話したことを手紙にして持ってきた。後ほど市長に読んでいただきたい。

A 承知した、後ほど読ませていただく。

Q 木島線の跡地について、廃止されて長く経つが、将来的にどのようにする予定か。

A 活用については、それぞれ必要な団体が使っているため、全体的な活用は考えていない。

サイクリングロードにしてはどうかという話は聞いたことがあるが、話だけで止まっている状況。

Q 先日、北信地区の移動知事室が開催されたようだが、どんな話をされたか聞かせてほしい。

A 人口減少についてどのような取組をしているか、6市町村首長と知事とで話し合った。

わざわざ市町村が合併しなくても、県が中心になりながら、潤滑油的な役割をお願いしたいという提言をさせていただいた。

Q コロナ禍があり、暗い、寂しい環境が続いていた。先日のションションまつりも盛り上がっていたし、カチューシャマラソンもぜひ復活させてほしい。

大人がエネルギーを使って盛り上がることをやっていくことが大事だし、その姿を見て子ども達も楽しめ、がんばろうと思う。そんな明るいまちづくりに加われたらいいと思う。

A 市の補助金の中にマルシェの補助金があり、それを活用して盛り上げている団体もいる。

やる気のあるお母さんを誘い、そのようなことをしてみるのも1つの手。

カチューシャマラソンは、体育協会も含め、課題として検討させてほしい。